

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 4 年 8 月 9 日



豊中ロータリークラブ

第 2949 例会

第 2544 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2022~23 年度
国際ロータリー会長
ジェニファー E. ジョーンズ
(Windsor-Roseland RC)



2022.7~2023.6
会 長 都井正剛
副 会 長 武枝敏之
幹 事 岩本洋子
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日（8 月 9 日）のプログラム

次回（8 月 23 日）のプログラム

「地区ビジョンと会員増強について」

「日本での留學生活について」

クラブ奉仕委員長：武枝敏之

豊中 RC 奨学生
Yugoviandi Primandara Mamahit

☆会長の時間☆

「原爆投下」

2022-23 年度 会長 都井正剛

8 月 9 日は長崎に原爆が落とされた日ですが、最近ロシアのプーチンが限定的に核を使う可能性を否定せず、核が使われる可能性が高まっています。核廃絶の願いがむなしく遠ざかっていることにどう対応したらいいのかは簡単には答えはできません。日本も核を持つべきだ。日本はアメリカの核に守られて、アメリカの核に頼るしかない。絶対に核廃絶の旗は降ろすべきではない。など種々の意見が昔から存在していますが、ロシアの言動に対しては日本が世界が、核は使用されるという前提によって意見が動かされつつあるように思われます。不信が不信を生むという悪循環を断ち切る方法は簡単には見つからないでしょうが効果ははっきりしなくても地道に国同士の、国民同士の信頼関係を作れるところで作っていくしかないでしょう。そういう意味でもロータリー活動は信頼関係を生み出すほうの活動だと思います。科学だけでは救いようのない世界を親睦と奉仕が少しは救いになればと願っています。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイポリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011
例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)
HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/
メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2948回	第2945回
例会日	8月2日	6月28日
① 会員数 A	34	35
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	26	27
③ 出席義務者出席数	15	20
④ 出席免除者出席数	4	4
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	11	7
出席率 %	63.33%	83.87%

出席率 (2948回) ③+④/②+④ 出席率 (2945回) ③+④+⑤/②+④

○幹事報告○

- ・国際ロータリー日本事務局より
8月のロータリーレートは1ドル=133円です。
- ・国際ロータリー第2660地区より
「会員増強・新クラブ結成推進月間のリソース」が届きました。

👁️ 掲 示 板 👁️

- ・地区クラブ職業奉仕委員長会議
日 時：2022年8月6日(土)
13:30~15:30
場 所：大阪 YMCA 国際文化センター 2階
大ホールとオンライン
- ・歴代会長会
日 時：2022年8月9日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー1F「かやの間」
- ・新会員納涼歓迎会
新会員歓迎納涼会は、BA5 まん延に依る大阪府からの要請に伴い、延期とさせていただきます。
日程が決まりましたらお知らせいたします。
- ・地区青少年奉仕合同委員長会議
日 時：2022年8月27日(土)
場 所：大阪 YMCA 会館
- ・第3回定例理事会
日 時：2022年9月6日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー3F 例会場前

◎副 SAA 当番◎
8月副 SAA

佐川正治会員

♥️ 8月2日のニコニコ箱報告 ♥️

- ・家内の誕生日祝いを頂いて
武枝会員
- ・入会記念日祝いを頂いて
矢野会員
- ・箕面市三曲協会演奏会にご来聴ありがとうございました。
松山会員
- ・松山会員にお世話になりました。谷野会員
武枝会員
- ・小川会員に大変お世話になりました。
松本 悟会員

留學生支援収支報告書

2021年7月1日~2022年6月30日 (単位:円)

(収入の部)		
前年度繰越金	807,695	留學生基金
地区補助金	363,330	Mamahit 君 * *
一般会計より受入金	740,000	2万円 x 37名
奉仕会計より受入金	300,000	年度により変動
特別寄付(宮田会員)	240,000	継続予定
受取利息	8	
収入計	2,451,033	
(支出の部)		
留學生へ奨学金	1,440,000	内訳は下記 *
交通費、食事費、雑費	87,121	
支出計	1,527,121	
次年度繰越金	923,912	留學生基金

* (留學生基金からの奨学金; 700,000円)

* (社会奉仕部門からの奨学金; 740,000円)

(現在、一人当たり毎月6万円を支給している)

(2022年度の奨学金総額は、1,440,000円の予定)

* * ほぼ同額のクラブ拠出金が必要である

クラブ拠出金 364,000円との合計で 727,330円となる



お知らせ

事務局のお盆休みは、8月15、16、17とさせていただきます。その間の緊急連絡は会長・副会長・幹事までお願い致します。

「ロータリークラブとライオンズクラブ」
 — その心は奉仕 —



卓話者：北村 公一

ロータリークラブ(以下 RC と略す)とライオンズクラブ(以下 LC と略す)はどう違うのか?おそらく両者とも両クラブのモットー”I serve”(RC)、“We serve”(LC)をお互いに認識している程度ではないでしょうか。RCとLCの両者の違いを知るうえでロータリーの決議23-34にいたる経緯を再考しました。

ロータリークラブの創設当初の目的は事業上の相互扶助と親睦でした。それがのちにロータリークラブは利己的で内部の利益交換の場に過ぎず、対社会的な意義が欠けているとの批判がおこり社会への奉仕が加えられ実践活動として最初に行なわれたのが公衆便所設置運動でした。他方初期の活動を通じて、アーサー・F・シュルдонは長期的に安定した利潤をあげることは信用確立という精神的境地の確立と表裏一体の関係にあることを悟り“*He profits most who serves his fellows best.*”を、同時期フランク・B・コリンズは「ロータリーは自己のためではない“*Service, Not Self*”(超我の奉仕)」を発表しました。これが今日の奉仕の理念となっています。その後実践活動としてのシラキュースRCの身障者対策(1912年)は国際身体障害児協会の設立につながり各クラブは競って身体障害者対策に取り組むようになりました。これらの社会奉仕活動は大きな資金とマンパワーが必要で奉仕活動の実践をめぐる論争をまきおこしました。1916年にはライオンズクラブ国際協会を非ロータリアン(?)のメルビン・ジョーンズが設立しました。1919年にエリリアRCのエドガー・アレンがオハイオ州身体障害児協会を本格的に設立し国際ロータリーの協力を求めたことから、一つの重要な問題となりました。それは、身体障害児問題救済は各クラブが、その団体名を用いて団体行動という形で直接問題の解決に乗り出したということです。

ロータリー運動の本質について理論派は「奉仕の心の形成」に、実践派は「奉仕活動の実践」にありました。理論派はロータリークラブの使命は「奉仕の心の」の形成であり「奉仕の心」で事業を行い、これを業界に拡大してゆくことによりそれが地域社会への奉仕につながる、自分の職業奉仕以外の分野の社会のニーズにはそれぞれの分野の会員が個人の奉仕活動として実施、または自分の属している職域や地域社会の団体活動として実施、クラブはあくまでもどのような社会的ニーズがあるかを提唱するにとどめる、ニーズを社会に訴えそれに対処する運動を盛り上げる触媒として機能する、ことです。

それに対して実践派は現実に身体障害者や貧困等の深刻な社会問題が山積しており、これまでロータリークラブが実施した社会奉仕活動が実効を上げている、理論派の態度は責任回避に過ぎないと主張、ロータリーは個人奉仕か団体奉仕か、金銭的奉仕の是非、と対立してロータリーは分裂の危機に直面しました。

決議第34号は、当時のこの対立を氷解させたばかりか、<社会奉仕>の概念を確立し下記のロータリーの社会奉仕の準則を明らかにしました。

職業奉仕の奉仕理念 *one profits most who serves best.*

人道的奉仕活動の理念 *service above self.*

決議23-34の意味は社会奉仕の方針ではなくロータリーすべての活動の方針を示し、ロータリーの二つの奉仕理念を明文化したことにあります。

以上の決議23-34はRCとLCの両者の違いを知るキイポイントと思います。

他方ライオンズクラブの概略についてはライオンズ国際協会のホームページによるとその目的は「日常生活の中で、会員がクラブ活動を楽しみつつ、地域社会に奉仕する」、モットーは“*We Serve*”(「われわれは奉仕する」)」と、「独力ではなく集団の力で、経済力のみならず知恵と労力をもって奉仕する。スローガンは“*Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety*”(「自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる」)」となっています。主な活動として献血奉仕活動、青少年育成活動、海外交換留学活動、市街地及び公園清掃活動、国際的な盲目・難聴者支援活動(白杖運動)等が活発に行われています。

ではRCとLCの違いはどこにあるのでしょうか。LCは寄付・寄贈を中心とした奉仕活動を行い、*Donation*(寄付・寄贈)を重んじるがRCは「職業を通じての奉仕を理念としている。お金はかけるべきではない」となっています。下部組織にRCにローターアクト、LCにはレオクラブがあります。

個人奉仕か団体奉仕かの違いがあっても *Service* を受ける社会からみるとどちらのクラブがおこなっても *service* 自体は変わらない。奉仕活動も結局はどう違うか、似たようなものになっています。しかしRCは活動の受益者は *service* を受けるものだけではなく、*service* をするもの両者であること、LCはボランティアであること、そして *Donation* に対する考え方の違いがあります。

地域におけるRCとLCの現状をみると豊中市には3RCクラブと6LCクラブがありそれぞれ会員獲得争奪戦を行い奉仕の成果誇示をしています。一般社会の目からは両者ともお年寄りの食事会にすぎない、と映っています。最終目的は社会のニーズに応じることであり *Service* の成果を競うべきではないし、ニーズに沿わない独りよがりの奉仕であってはならない(スラックティブイズム *Slacktivism*) と思います。

さてこれからのRCはどのようにあるべきでしょうか。社会の現状はコロナ禍、グローバリズム、IT社会、国際情勢の不穏、等々これからの社会は大きく変わってゆくことでしょう。その中であってもRCの理念を大切に人生哲学を学んでゆきたいと思います。奉仕の理念を大切にすればクラブ間で奉仕の成果を競い合っている場合ではありません。地域社会のニーズに基づいた奉仕活動を他団体との共同活動の可能性を模索してゆくべきと思います。